

## 兵庫県社保協 FAXニュース

2021年11月25日

兵庫県社会保障推進協議会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7  
兵庫県民医連内  
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353  
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

- \* 第4回兵庫年金裁判 12月6日(月)15時、大阪高裁
- \* 中央社保協・国保運動交流集会 12月12日(日)10時～16時。
- \* 確定申告学習会 12月17日(金)14時、保険医協会5階  
事前申込 12/13、資料代 500円、電卓・筆記用具持参
- \* 生活保護基準引き下げ違憲訴訟第27回「判決」  
12月16日(木)14時、神戸地裁

介護・認知症なんでも無料  
電話相談 件数 過去最多  
兵庫で21件 全国で547件

### 介護の問題切実

「有料老人ホーム費用が限界」  
「夫が認知症、私は目が見えない」



介護・認知症なんでも無料電話相談が11月11日、全国23都道府県で一斉に取り組みられました。兵庫県では兵庫労連に受付電話を設定し、過去最多の21件の相談対応をしました。全国では547件の相談が寄せられ、昨年との2倍の相談件数となりました。

介護保険は今年4月から第8期計画の改定があり保険料基準額が県内でも6,000円を超えています。入所やショートステイの補給給付の改悪で、2万円以上の負担増となるケースも出ており、利用抑制がさらに強まっている状況です。また高齢化が進む中、認知症への不安も広がっています。

電話相談の取り組みにあたり、ポスターを県社保協で作成し、県下200法人の介護施設に掲示依頼を送り、各社マスコミにも宣伝を要請、神戸新聞に掲載されています。また兵庫民医連では事業所での宣伝と事業でつながりのある他事業所へ、介護署名の協力依頼と合わせて取組を宣伝しました。

当日相談員は兵庫民医連から6名、兵庫労連から2名、福祉ネット星が丘から1名の協力を得て実施しました。

「85歳の夫は認知症でパーキンソン病がある。転倒して入院し、その後有料老人ホームが決まったが2-3か月で費用が限界になり出るようになった。老健施設の入所待ちをしているが、男性が入る部屋が無いと言われる。施設を増やしてほしい」

「夫は認知症で妻(80歳代)は目が見えない。入浴は一カ月入っていない。服も変えていない。リハビリは週一日入っている。痛風で歩けない。施設に入れるのか」

など、切実な相談の対応をしています。

(県社保協事務局長 堤 匠)



75歳以上窓口負担「2倍化」  
中止を求める請願書提出へ

兵庫県議会全会派に要請  
12月議会傍聴呼びかけ



兵庫県社保協、年金者組合兵庫県本部、兵庫県高齢期運動連各会は11月24日、来年実施されようとしている75歳以上の医療費窓口負担2割導入の中止を求めて兵庫県議会の全会派に、紹介議員の要請で訪問しました。

12月1日から開会される県議会に提出する請願書は「高齢者の必要な医療を受ける機会の確保と現役世代の将来に不安と負担を押し付けないため、75歳以上の医療費窓口負担2割導入を中止すること」とし、国へ意見書をあげるよう求めています。議員団訪問での要請で懇談ができた、ひょうご県民連合では、広く税制の問題も含めて考える必要があるとの意見交換がありました。無所属の丸尾牧県会議員本人に直接趣旨説明をしています。日本共産党県議団には、高齢者の生活実態も交流しています。

県議会傍聴を各団体に呼びかけます。



日本共産党県議団との懇談の様子